

結びの一番は春ノ翔と若ノ嶋の横綱同士の取組。春ノ翔はこの一番に勝ち越しをかける大事な相撲。勝ち越して勝ったか、押し倒して若ノ嶋を下して、千秋楽に勝ち越しを決め

優勝を決めた千代鈴と大神楽の結び前の一番は、大神楽も力が抜けたか、千代鈴が一方的に攻めて勝って有終の美を飾った。

出羽翼もこの一番に勝ち越しと閉脇維持がかかっているだけに負けるわけにはいかない。注目の一番は、出羽翼が先場所所見え、そのま正面土俵に押し出した。「あー！負けちゃったよ！」と決定戦を思い描いていた鹿賀乃戸親方の夢が散った。この瞬間、大神楽との一番を取る前に千代鈴の2回目の優勝が決まった。

そして迎えた千秋楽。優勝を争う鹿富士は苦手の出羽翼と対戦。これまでの対戦成績は鹿富士の3敗と勝っていない。「鹿富士が差すような感じがするんだけどなあ」と錦風親方。「出羽には差されちゃうんだよ」と鹿賀乃戸親方。

千代鈴は横綱春ノ翔と大関千代鈴との一戦。一方の春ノ翔は5勝4敗とまだ勝ち越しておらず、何としても勝たなければならぬ。春ノ翔は横綱としての力を見せたかったが、千代鈴に圧倒されて寄り切りで敗れた。これで、若ノ嶋、大神楽、網乃花の3敗の優勝はなくなり、1敗の千代鈴と2敗の鹿富士の2人に優勝は絞られた。



春ノ翔○(押し倒し)●若ノ嶋



出羽翼○(押し出し)●鹿富士



春ノ翔●(寄り切り)○千代鈴

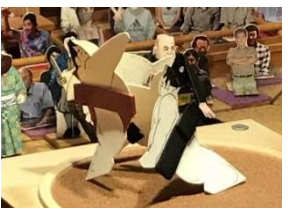
面目を保った。今場所、大活躍の綱乃花は佐賀ノ海との対戦となり、勝つて8賞目をあげ見事敢闘賞に輝いた。佐賀ノ海は大関復帰の8番を目指したが6勝に終わり、大関復帰はならなかった。ただ、勝ち越して閉脇の座を守り、来場所以降につなげることができた。

千秋楽に参加することが恒例となっている霧ヶ浜親方は呼出を務めながら愛弟子に声援を送り、その甲斐があつてか、部屋頭の若巨が前頭三枚目の勝ち越しを決めた。

今場所は、横綱美空富士の引退があつたものの、横綱大関、三役陣、新入幕の綱乃花らが優勝争いを演じて大いに盛り上がる場所となった。その中であつて、千代鈴の強さは際立っていた。千代鈴はいよいよ来場所は綱獲りの場所となる。連続優勝で横綱を射止めるのか、今から楽しみだ。(錦風)

### 龍不動 三つ巴を制す

十両は三つ巴の決定戦を制した龍不動が初優勝を飾った。七日目を終えて全勝だった磯自慢が八、九日目に連敗して2敗に後退。1敗で追つては龍不動が八日目に西の龍不動が八日目に西の



真田丸●(押し倒し)○西富士

富士との直接対決に敗れ、西の富士が九日目を真田丸に勝って1敗を守り単独トップが1入替わった。



龍不動○(上手投げ)●磯自慢



綱乃花○(寄り切り)●佐賀海

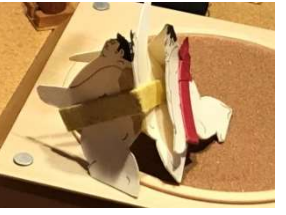
これで優勝争いは西の富士と2敗で追う宇治家、龍不動、磯自慢の4人で争われることになった。十日目まずは西の富士と磯自慢の対戦。磯自慢は初日から快調に先頭を走っていたが、開催が2ヶ月以上空いたのが響いたのか動きに精細を欠きた一転追う立場に。

ここで負ければ完全に優勝の目はなくなった。ここで脱落するわけにはいかないと気合を入れ直したのが功を奏したのか、立ち合いから前に出ての押し倒しで優勝争いに踏みとどまった。

そして続く宇治家と龍不動もそれぞれ若雲山と西勢ノ里を破って十日目を終わって2敗で4人が並ぶ混戦状態となった。

迎えた千秋楽、気になる対戦相手は、磯自慢は桃乃洲、龍不動には渡海、そして宇治家と西の富士の直接対決が組まれた。まずは磯自慢。相手となる桃乃洲はこまで7勝3敗で好調をキープ。十三枚目の位置だが、難なく勝ち越しを決めていて油断できない相手だ。磯自慢としても楽に勝てるようではないと見たのか安易にのど輪に行くことはせずに、じっくりと左を差して寄り切りを下した。これで2敗を守り上げて決定戦進出を決め、一旦支度部屋へと引き上げる。

次は龍不動が土俵に上がる。対戦相手の渡海は今場所は幕内昇進を視野に入れて望んだ場所であり、入幕の暁には四股名を大渡海に改名することのでファンが楽しみに待っている。



桃乃洲●(寄り切り)○磯自慢



龍不動○(押し倒し)●西勢里



磯自慢○(押し倒し)●西富士

その渡海との一番は、浅くのど輪を入れた体で龍不動が攻め立て最後は向正面に押し倒して破り、これで龍不動も決定戦に駒を進めた。



西富士●(寄り切り)○宇治家

取組終了後にすぐに決定戦のくじ引きにより、初戦は龍不動が宇治家を引き落とし、続く磯自慢が得意の押し倒しで優勝を決めた。

終盤は日ごとに先頭が入れ替わる展開となつたが、最後の展開となったのが、最後の最後で龍不動が優勝をもぎ取る結果となった。今場所十両に陥落してどうなることかと思われたが、不安を一掃して一場所での幕内返り咲きを決めた。播磨屋親方もこの展開での優勝は想像していなかったはずで、なおさら喜びもひとしおと言えそう。愛媛の空の下、一人歓喜に浸っていることだろう。

これで来場所に昇進となるのは宇治家、龍不動、夢ノ花、磯自慢の4人となる見込み。龍不動を除く3人は初の幕内昇進となるが、家には九十九部屋5人目の幕内力士の誕生となり、後にはまだ葵盛も控えている。



磯自慢●(押し倒し)○龍不動



龍不動○(引き落とし)●宇治家



龍不動○(押し倒し)●渡海